

はじめに

平成二十七年三月、学校教育法施行規則の一部改正により、「道徳」は「特別の教科道徳」となりました。小学校においては平成三十年四月一日から、中学校においては平成三十一年四月一日から全面实施となりますが、平成二十七年四月からは既に移行措置としてその一部又は全部を実施することが可能となっています。

児童・生徒に、人が人として生きる上で大切な倫理観や道徳性を身に付けさせることは喫緊の課題であり、先行実施に向けた速やかな取組が極めて重要です。そのため、東京都教育委員会は、小学校及び中学校における教科化を推進する核となる実践力のある教員の養成を進めています。さらに、検定教科書が発行される前に各学校が先行して指導できるよう、全国に先駆けて、教科化に対応した教材の開発と指導資料の作成等を行っているところ です。

学校における道徳教育は、人が一生を通じて追求すべき人格形成の根幹に関わるものであり、その目的は児童・生徒一人一人が自己の生き方の指針をもてるように支援すること

です。自己の生き方は、人から与えられるものではなく、生きていく過程で様々な体験や経験を通して、自己へ問いかけ、迷いながらも自分にとって最善の指針を見付け出ししていくものです。

道徳の授業は、「自分の答え」を見いだす時間です。

教師の役割は、児童・生徒が自己の生き方の指針をもてるように動機付けをすることであり、教師の働き掛けはそれを促すものでなければなりません。道徳科の創設にあたって東京都教職員研修センターでは、児童・生徒が自己の生き方の指針を自らの意志や自らの言葉でもつことができるように支援するため、教師の働き掛けである「発問」を重視していきます。

具体的には、次のような「発問」を重視していくことを提案します。

第一は、主題につながる読み物教材の中の主人公等の思いや行動について、児童・生徒が考える必然性や切実感がある発問をすることです。世間の常識のようなもの、教材の中から探せば答えが見付かるもの、教師が言わせたいもの等を問うのではなく、児童・生徒のみならず、発している教師自身も自らに問い掛け、悩まざるを得ない、答えが一つとは

決めかねるような生涯に渡って多面的・多角的に考え続けていくことにつながる「考えるに足る発問」です。

第二は、読み物教材を参考とし、直接的に児童・生徒が自らの生き方について考えるような発問をすることです。自らの生き方の指針を確固たるものにするためには、今の考えで満足するのではなく、自分の考えを他の人に伝えるとともに、他の人の意見を聞いて、自分の考えを修正したり自信をもったりするなどの双方向の営みが大切です。議論したい、議論しなければ解決できない、そうした中で、自分の考えを確固たるものにしたいたい等の気持ちになるような能動的かつ多面的・多角的な話し合いにつながる「議論に値する発問」です。

今回、当センターは、現在の道徳の時間の課題を踏まえ、「考える道徳」、「議論する道徳」への転換につながる指導方法の核になるものとして、「考えるに足る発問」、「議論に値する発問」を提案します。本書の内容をぜひ、御一読、御参照いただき、先生方の授業改善と指導の充実に役立てていただきたいと思います。

平成二十八年三月

東京都教職員研修センター所長

金子 一彦

*はじめに

目次

第一章 知る ―「特別の教科 道徳」を知る―

一 道徳教育の歴史……………9

二 教科化の背景……………11

三 「特別の教科 道徳」の概要

(一) 目標……………13

(二) 改訂の要点……………14

(三) 内容項目の指導の観点(一覧表)……………16

(四) 評価……………24

※ 評価に関する疑問 Q & A

第二章 稽^{かんが}える ―教科化になる前から取り組まれていた指導を振り返る―

一 「道徳の時間」で実践されてきた指導……………35

二 「価値葛藤の場」を重視した指導過程……………36

三	展開に「前段と後段」を位置付けた指導過程	38
四	資料の特徴を生かした展開	40
五	子供の価値観に着目した展開	41
六	子供の話合い活動を活発にする展開	42
七	「道徳の時間」と他教科等との関連をより密接にした指導過程	43
八	子供の心を開くことを大切にした指導過程	44

第三章 創る — 「特別の教科 道徳」の指導過程・評価の方法を考える—

一	小・中学校学習指導要領解説に見る指導過程のポイント	49
二	「考えるに足る発問」、「議論に値する発問」を重視した展開を創る	50
三	評価方法を考える	60
四	実践事例	62
(一)	いじめの問題に関する指導	62
	自主、自律、自由と責任 (中学校)	
(二)	① 主権者教育と関連付けられる指導	72

善悪の判断、自律、自由と責任（小学校第五学年）

(二―②) 主権者教育と関連付けられる指導 …………… 83

遵法精神、公德心（中学校）

(三) 規範意識に関する指導 …………… 91

規則の尊重（小学校第二学年）

第四章 訊ねる ―お薦め教材十選を紹介する―

一 小学校（第一・二学年版）お薦め十選 …………… 102

二 小学校（第三・四学年版）お薦め十選 …………… 108

三 小学校（第五・六学年版）お薦め十選 …………… 114

四 中学校 お薦め十選 …………… 120

【参考文献・引用文献】 …………… 127